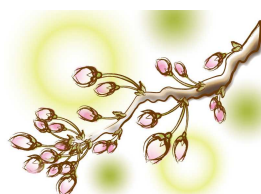


さくら



令和8年1月13日(火)

花の咲かない冬の間は……



この三連休、皆さんはどのように過ごしましたか。初日の穏やかな小春日和から一転、中日(なかひ)は全国的に暴風雪となりました。大阪でも雪の舞う時間がありました。午後から高速道路を使って出かける用事があったのですが、あまりの強風に「今日はいつも以上に慎重に運転しよう」、と車のハンドルを握りました。

午前中は、吹き荒れる強風の中、家の中から窓の外をぼんやりと眺めていました。その時、ふと思ったことがあります。視線の先にある桜の木は、今は花もなく、葉さえありません。しかし、この桜は春になれば必ず美しい花を咲かせ、鮮やかな新緑をつけます。いつもなら当たり前に見過ぎてしてしまいましたが、実はこの極寒の中でさえ、植物は春の準備を着々と進めています。

もしかしたら、この厳しい冬の風雪にじっと耐え抜くからこそ、見事な花を咲かせる力が蓄えられるのではないのでしょうか。

皆さんも、土佐公園などで、桜の枝を観察してみてください。枝のあちこちに、小さく膨らんだ冬芽(とうが)が見つかるはずです。その中には、やがて花になる花芽(かが)と、葉になる葉芽(ようが)が、冬の寒さから身を守りながら出番を待っています。

勉強、部活動、習い事などで、今は結果が出ず、我慢や努力の連続で苦しいと感じている人もいるかもしれません。しかし、その耐える時間こそが、皆さんの人生における根を深くし、大きな花を咲かせるための大切なエネルギーになります。皆さんに、次の言葉をおくります。

花の咲かない冬の間は 下へ下へと根を伸ばせ

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

